

# おはなしのくに（おはなしのしょうかい）

## おはなしのくに「シンデレラ」

「シンデレラ」は、グリム童話どうわにも でてくる ゆうめいな おはなし。

日本では「灰はいかぶり」という なまえでも しられて いるよ。

### 「シンデレラ」あらすじ

シンデレラという やさしく うつくしい 女の子は、いじわるな まま母と おねえさんたちに いじめられて いました。

ある日、おうさまが パーティーを ひらくことになりました。

ぼろぼろの ようふくしか ない シンデレラに、まほうつかいの おばあさんが とても きれいな ドレスと くつを よういして くれました。

シンデレラに ひとめぼれを した おうじさまは、シンデレラが わすれた くつを てがかりに、シンデレラを みつけ、シンデレラは おうじさまと けっこんして しあわせに くらしました。

### 「シンデレラ」つたえたいこと

いつも やさしく すなおに くらしていた シンデレラは おうじさまと けっこんして しあわせに くらせたね。

シンデレラに いじわるを していた おねえさんたちは しあわせに なれなかったよ。



「シンデレラ」のおはなしが つたえたいことは 「やさしく すなおに くらしていれば きっと いいことがあるということ、そして、いじわるを すると しあわせに なれない」という ことだね。

## おはなしのくに「ももたろう」

「ももたろう」は 日本に ふるくから つたわる むかしばなし。  
ももから うまれた 男の子の おはなしだよ。

### 「ももたろう」あらすじ

むかしむかし あるところに、おじいさんと おばあさんが すんでいました。おばあさんが かわで せんたくを していると、おおきな ももが ながれて きました。

ももを きってみると、なかから 男の子が でてきました。

ももからうまれた 男の子（ももたろう）は、鬼たちが すむ しまに おにたいじに いくことになりました。

とちゅうで、いぬ、さる、キジと であい、いっしょに 鬼たちと たたかうため、いっしょに しまへ むかいました。

鬼たちは、つよいけれど、ももたろうと なかまたちは ゆうきを出して たたかい 鬼たちを たおしました。

### 「ももたろう」つたえたいこと

ももたろうは、いぬ、さる、キジと いっしょに たたかって 鬼に かったね。

なので、「ももたろう」の つたえたい ことは 「ゆうきをもつこと、なかまと きょうりよく することの たいせつさ」という ことだね。



## おはなしのくに「赤ずきん」

「赤ずきん」は グリム童話にも でてくる おはなしだよ。

### 「赤ずきん」あらすじ

いつも 赤い ずきんを かぶって いるので 「赤ずきん」と よばれる 女の子が いました。

赤ずきんは おばあさんの いえへ むかう とちゅう、おおかみに だまされて みちくさを して しまいます。

その あいだに おおかみは おばあさんを たべて、おばあさんに ばけて、やってきた 赤ずきんの ことも たべて しまいました。

そこに りょうしが やってきて、まんぷくで ねている おおかみの おなかから おばあさんと 赤ずきんを たすけだしました。

### 「赤ずきん」つたえたいこと

赤ずきんは、おかあさんの いいつけを まもらずに、おおかみに だまされて みちくさを して しまったので、おおかみに たべられて しまったんだ。

なので、「赤ずきん」が つたえたい ことは 「いいつけを まもらないと きけんな めに あう」という ことだよ。



## おはなしのくに「かちかち山」

「かちかち山」は、日本に ふるくから つたわる おはなし。

### 「かちかち山」あらすじ

あるところに おじいさんと おばあさんが すんでいました。ふたりは いたずらものの たぬきに こまって いました。おじいさんに つかまった たぬきは、おばあさんを だまして ころしてしまい、おなべに して おじいさんに たべさせて しまいました。おじいさんの かわりに かたきうちを たのまれた うさぎは、たぬきを しばかりに さそいだして、せおっている しばに 火を つけました。火うち石を うつ ときに、「かちかち」と おとが するのを、「ここは かちかち山なので、かちかちどりが ないている」と せつめいしました。やけどをした たぬきの せなかに とうがらしを ぬらせて ころしめたあと、たぬきを だろの ふねに のせて うみにでるように しました。だろの ふねが こわれて、たぬきは うみで おぼれて しんでしまいました。

### 「かちかち山」つたえたいこと

かちかち山に でてくる たぬきは、いたずらをしたり、おばあさんを だまして ころして しまったり、とても わるいことを したよ。

そんな たぬきは、うさぎに うんと ころしめられて、さいごは うみで おぼれて しんでしまったね。

「かちかち山」が つたえたいことは、「わるいことを すると ひどいめに あう」ということだね。



## おはなしのくに「さるかに合戦」

「さるかに合戦」は、日本に ふるくから つたわる おはなし。  
かにを ころした わるい さるに、こどもたちの かにが しかえしを  
する はなしだよ。

### 「さるかに合戦」あらすじ

かにが おにぎりを もって いると、さるが ひろった かきの たね  
と こうかんしようと いいました。  
かきの たねを うえて そだてれば ずっと おいしい かきが たべら  
れると いわれて、かには いっしょうけんめい かきを そだてました。  
しかし、かきが そだつと、さるは かきの みを よこどりして、まだ  
あおい かきを かにに なげつけて ころして しまいました。  
かにの こどもたちは、さるに しかえしを しようと、くり、はち、うし  
のふん、うすを なかまにして、さるの いえで まちぶせを しました。  
さるが かえってきて いろりに あたると、いろりの なかに かくれて  
いた くりが はねて やけどを させ、みずで ひやそうと すると、み  
ずの なかに かくれて いた はちが さし、びっくりして げんかんを  
でると、うしのふんで ころび、そこに やねに かくれて いた うすが  
さるを めがけて おちてきて、さるは しんで しまいました。

### 「さるかに合戦」つたえたいこと

さるは、かにに ひどいことを したので、かにの こどもたちに しか  
えしをされて、ひどいめに あって しんでしまったね。  
なので、「さるかに合戦」が つたえたい ことは、「ひどいことを する  
と、ひどいめに あう」という ことだよ。



## おはなしのくに「雪女」

「雪女」は、日本に ふるくから つたわる おかしな話。  
ゆきの ようかいの 女の人と、にんげんの 男の人の こいものがたりだ  
よ。

### 「雪女」あらすじ

ゆきのふる 山へ もさくという としよりの きこりと、むすこの み  
のきちという わかものが いくと、ふぶきが はげしく なったので、や  
まごやで すごしていました。

すると、雪女が やってきて、ねていた もきちを にごえさせて ころし  
て しまいました。

みのきちは、わかくて うつくしいので、雪女は ころすのを やめまし  
た。

しかし、「このことを だれかに いったら ころしてしまうよ」と やく  
そくして、雪女は いなくなりました。

一ねんど、みのきちの ところへ おゆきという うつくしい 女が やっ  
てきて、ふたりは ふうふに なり、こどもも たくさん うまれました。  
みのきちは、おゆきに、うっかり 雪女と あったときの ことを はなし  
て しまいました。

しかし、じつは おゆきが その 雪女だったのです。

「やくそくを やぶったね。しかし、こどもたちも いて、おまえを ころ  
すことは できない」と、雪女は いて、すがたを けして しまいまし  
た。



## 「雪女」つたえたいこと

みのきちが 雪女との やくそくを やぶって しまったので、おゆきは  
すがたを けして しまったね。  
なので、「雪女」の つたえたいことは 「やくそくを やぶっては いけ  
ない」という ことだね。

